

組立式仮設給水タンクの整備について

上水道事業に統合した簡易水道地域の水道施設は、その多くが非耐震であり、配水池や管路の耐震化による応急給水拠点の整備を早急に行うことは困難となっています。また、簡易水道統合前の上水道地域においても、応急給水拠点整備を計画的に進めていますが、整備完了は令和13年度となります。

こうしたことから、応急給水拠点の未整備地域における応急給水体制の構築を早期に図るため、組立式の仮設給水タンクを30基整備することとしました。令和4年11月現在、給水タンクの選定及び購入契約を終え、令和5年1月末の納入を予定しています。

災害が起こった際は、水道施設の被災状況を勘案して水道局が開設する給水所（小学校、地区公民館など）に仮設給水タンクを設置して、給水車で運搬給水を行います。

受援体制の確立や人員の配備など応急給水活動の詳細は、今後検討していくこととしています。



給水タンク

容量：1,000L/基

給水口：2栓

重量：本体 60 kg 架台 44 kg

組立時間：約 10 分（2人で作業時）

運搬給水のしくみ

